

市民ワークショップの実施について

国分寺市脱炭素未来ワークショップ

～未来市長になって考える 2050年のまちづくり～

①市内環境活動団体対象

日時：令和5年5月21日（日）午前9時30分～正午

場所：市役所書庫棟会議室

参加者数：14名



意見概要：

【再エネ・省エネ等】

- 建物の長寿命化，耐震化，耐火，リフォームへの補助
- 建物のゼロエミ化への補助
- 新エネルギーの利用促進
- シェアサイクル・カーシェアリングの普及

【緑地・吸収源対策】

- 既存緑地の保全推進
- 援農ボランティアとの連携・働き手を集めやすい制度
- 農地の法人化・賃貸化
- こくベジの普及・地元野菜の販売支援
- 新しい建物の周囲に緑化を義務付ける。
- 開発を抑制する。人口を減らす。
- 高齢者が緑の保全に参加できる仕組み

【情報提供・環境教育】

- 環境教育，情報提供の機会を増やす。
- 子どもへの教育が重要

【気候変動適応策】

- 雨水を吸収するアスファルト道路（透水性舗装）による地下水涵養

【その他】

- 環境税の導入
- 人口が増えないと税収も増えない。

②一般市民対象

日時：令和5年5月21日（日）午後2時～午後4時30分

場所：リオンホールA（cocobunji WEST 5階）

参加者数：23名



意見概要：

【再エネ・省エネ等】

- エネルギーの地産地消（市民発電所，自治体新電力）
- ZEB・ZEH，再エネ，断熱改修推進（補助の拡充）
- 空き家をZEHにして販売する。
- 乗り物のシェア化を推進

【緑地・吸収源対策】

- 緑地・崖線の保全
- 都市農業を推進
- 市内で作られた農産物・食品を買うとポイントを貰える仕組み
- ないものねだりではなくあるもの（自然・人）を活かす。

【循環型社会】

- フードロス削減（市内飲食店で使えるクーポンと交換など）
- 楽しんで取り組む（ゴミ減量にポイント制を導入するなど）
- デポジット制度

【情報提供・環境教育】

- もっと情報提供やPRを
- 成果を見える化する。
- 学校での環境教育を充実させる。

○NO 電力の暮らし体験（縄文の暮らし，キャンプなど）

【その他】

○カーボンオフセット

○産官学連携

○全ての人が議論に参加できる場を準備すべき。

○省エネ，脱炭素には広域的な連携が必要

○環境予算の拡充（環境債発行など）

③市内中学生対象

日時：令和5年7月22日（土）午後1時30分～午後4時30分

場所：ひかりプラザ 203・204 会議室

参加者数：5名



意見概要：

【再エネ・省エネ等】

○国分寺は坂が多いので，それを活かして体力をつけて電力に頼らず暑さを乗り切る。

○教室の冷房など，気温をA Iで自動調節することで省エネ

○先生が考えていることをA Iが自動要約してくれると，時間が短くなって省エネ

○ガソリン車から電気自動車・自転車・シェアキックボードに転換

○小さい家にする，シェアハウスにすることで省エネ

○再エネ由来電力の値段を安くする。

○二酸化炭素排出量の少ない車にする。

【気候変動適応策】

○農業への影響拡大に対する保険をつくる。

○害虫が嫌がる植物を植えて被害を防ぐ。

○虫と人間との共存と棲み分け

○地域の農家さんが作る野菜を積極的に売り出す。

○打ち水など昔ながらの方法で涼しく。

○店舗の軒先を広くして急な夕立のときも雨宿りできるようにする。